【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成25年11月14日(2013.11.14)

【公開番号】特開2012-89257(P2012-89257A)
【公開日】平成24年5月10日(2012.5.10)
【年通号数】公開・登録公報2012-018
【出願番号】特願2010-232605(P2010-232605)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｊ　11/22　(2012.01)
Ｈ０１Ｊ　11/34　(2012.01)
Ｈ０１Ｊ　9/02　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　3/298　(2013.01)
Ｇ０９Ｇ　3/291　(2013.01)
Ｇ０９Ｇ　3/20　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｊ　11/02　Ｂ
Ｈ０１Ｊ　9/02　Ｆ
Ｇ０９Ｇ　3/28　Ｅ
Ｇ０９Ｇ　3/28　Ｈ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６２２Ｃ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６２２Ｄ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６２４Ｍ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６２１Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成25年9月27日(2013.9.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
維持電極及び走査電極を含んで構成される複数の放電電極対と、放電空間に露出する保護膜層と、を有する基板を含むプラズマディスプレイパネルであって、
前記走査電極近傍の保護膜層上に塗布されるプライミング粒子放出粉体の被覆率が、前記維持電極近傍の保護膜層上に塗布されるプライミング粒子放出粉体の被覆率よりも大きいことを特徴とするプラズマディスプレイパネル。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
本発明のプラズマディスプレイパネルは、維持電極及び走査電極を含んで構成される複数の放電電極対と、放電空間に露出する保護膜層と、を有する基板を含むプラズマディスプレイパネルであって、前記走査電極近傍の保護膜層上に塗布されるプライミング粒子放出粉体の被覆率が、前記維持電極近傍の保護膜層上に塗布されるプライミング粒子放出粉体の被覆率よりも大きいことを特徴とする。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３５】
走査電極２に面した保護膜層５の直上には、多くのプライミング粒子放出粉体を塗布する。一方で、維持電極３に面した保護膜層５の直上には少なめのプライミング粒子放出粉体を塗布する。これにより、走査電極２近傍の保護膜層５上に塗布されるプライミング粒子放出粉体１２の被覆率が、維持電極３近傍の保護膜層５上に塗布されるプライミング粒子放出粉体１２の被覆率よりも大きい構成としている。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４６】
（動作の説明）
つぎに、上記のように走査電極２近傍のプライミング粒子放出粉体の被覆率を、維持電極３近傍のプライミング粒子放出粉体の被覆率より大きくしたプラズマディスプレイパネルの動作について説明する。